

安曇野建設事務所 道路改築事業による整備効果事例

国道147号 安曇野市～松本市 高家バイパス

安曇野市と松本市を結ぶ国道147号は、生活、産業、観光等の主要幹線として交通量が多く交差点付近では慢性的な渋滞を引き起こしていました。

このため長野県では安曇野市鳥羽地籍の国道147号から松本市島内地籍の国道19号までの間にバイパスを計画し、交通分散による交通渋滞の緩和と快適な沿道環境の確保、さらには、国道254号とのアクセスをスムーズにすることで上田・佐久地域との広域ネットワークを形成し、交流の活性化、地域産業の発展に寄与することを目的に整備しました。

概要図



事業概要

事業延長 L=4, 200m
 幅員 W=13.0(25.0) 4車線
 (当面暫定2車線で整備)
 事業期間 平成6年度～平成19年度
 平成19年7月 全線完成供用

整備効果



新たなバイパスが整備されたことにより、交通が分散され、これまで交通が集中していた周辺道路の交通量が減少した。これにより渋滞が緩和された。

* 交通量は、全線完成供用前と後の「道路交通センサス」のデータで比較

安曇野建設事務所 道路改築事業による整備効果事例

国道147号 安曇野市～松本市 高家バイパス

現在の
R147BP



【高速交通網とのアクセスの向上】

- ① 梓川スマートICとのアクセス道路として機能し、利便性が向上。

梓川スマートIC利用台数が年々増加

〔年間日平均利用台数

(H22.11開通～H26.9) : 45%増加



①



【生活環境の向上】

- ② 安曇野市内と上田駅を結ぶ「予約制乗合タクシー」が運行開始。

(予約制 5往復/日 運行)

北陸新幹線を利用することで

安曇野市から東京への交通の利便性が向上。

③



②



R147BP

R254

上田駅

東京方面



【地域産業の発展】

- ③ 産業団地の整備 (あづみ野産業団地)

〔企業進出数 : 26企業 (H26.11現在)〕